

黄色に染まったゲレンデ

— 6万本のひまわりが咲き誇る —



冬は白一色となるゲレンデが黄色に染まる。訪れたかたもその光景の素晴らしさに驚いていました。

焼山地区は、十和田湖・奥入瀬・八甲田の玄関口となっています。市では現在、観光客などの滞在時間の延長や宿泊につなげることを目的に「花と温泉」のまちづくりに取り組んでおり、将来は、アートなどを取り入れたまちづくりを目指しています。

今年度取り組んでいる焼山フラワーガーデン事業は、十和田湖温泉スキー場を「花畑」として活用しています。この事業は、パークゴルフ場など周辺の地域資源の豊富さと眺望の素晴らしさを生かして、スキー場の冬季以外の利活用や地域の活性化、雇用の場の創出を目的としています。今年度は、第1リフト乗り場付近に芝桜約200㎡、ゲレンデ中腹に6万本のひまわりを約2・5ha開墾して試験植栽を行いました。

事業に当たっては、地質の現況調査や事業着手による災害などへの影

響などについて、専門家に調査を依頼するとともに、芝桜の春植えとひまわりの試験植栽を行い、生育状況などを観察しています。

現在、事業に関してさまざまなご意見、アドバイスをいただくため、地元町内会や観光関係者、ガーデンニングや植物の専門家などによる協議会を設置し、新たな観光資源として地域の活性化につながるよう、検討を続けています。

春に植栽した芝桜は根を張り、ひまわりはお盆過ぎから咲き始めました。8月下旬には満開を迎え、試験栽培にもかかわらず県内外から約2000人の観光客が訪れ、好評を博しました。今後は、観光客へのアンケート調査結果や試験植栽の成果を分析し、次年度の事業に生かすことにしています。

☎ 企画調整課政策推進係 6710



照りつける太陽、日傘を差してひまわり畑を散策。



※この事業は、宝くじ助成金を活用しています。